

教育な が れ や ま

第 81 号
編集発行 流山市教育委員会
TEL 04 (7158) 1111

つながり・支え合いのある教育を目指して



流山市教育委員会教育長 田中 弘美

新型コロナウイルスの感染拡大がいまだ抑え込まれていない閉塞した社会状況の中で、人と人とのつながり、互いの支え合いを求める状況がますます強くなっていると感じています。

仕事のスタイルが変わり、ライフスタイルにも変化が生まれてきましたが、互いをいたわり、思いやる気持ちは変わっていないのではないのでしょうか。

教育現場においても、マスクや消毒、換気など三密を避ける生活様式が当たり前のように取り入れられていますが、このような状況でも、学校はすべての子どもにとって、自分らしく学べる場であり、つながりの持てる居場所になるよう日々取り組んでいます。

市内の学校訪問を通して感じたのは、それぞれの学校が工夫と発想の転換を図り、今まで以上に学習環境を整え、授業も含めた諸活動に取り組んでいる様子を確認することができたことです。

- 給食時：テレビを活用し、動画配信を通して、先生方の紹介や学校の様子を子どもたちに伝える取り組み
- 音楽の授業：歌を歌えない代わりに、ギターを購入し授業に取り入れた活動
- ICT機器の活用：タブレットを使っての観察や調べ学習、諸グループでの意見交換
- 委員会活動：児童生徒が自主的に企画、運営した委員会活動の紹介等

子どもたちは、何事においても、「やってみる」（チャレンジする）ことは価値があることで、そこから学ぶことが多々あると実感することが出来ること、そして、失敗を恐れず、活動することで自信につながり、個々の成長を導いていくことを学んでいると思います。

また、授業参観や保護者会の持ち方等もオンラインを活用し、密を避ける方法を取り入れ実施するなど、保護者の皆様のご理解、ご協力のもと、教育活動が行われていることも確認できました。

改めて、学校はすべての子どもにとって安心できる居場所であり、そして、子どもの見えていない内面や背景など、毎日の小さな変化に目を配り、アンテナを高くして学校全体で情報を共有し、瞬時に行動に移すことができる体制づくりを進めていくことも重要であると感じます。

学校は、学校に関わるすべての「人」のつながり・支え合いにより、教育活動が成り立っています。

今後とも、すべての子どもが元気に学校生活を送れるよう市教育委員会と学校が連携を深め取り組んで参りますので、保護者の皆様及び地域の皆様のご支援、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

◇ フレッシュ先生からのメッセージ!! ◇

◇流山市立鱈ヶ崎小学校 白戸 華帆教諭◇

千葉県の実施策に魅力を感じ、今年の春に青森から上京しました。毎日学校に行くたび、教師になるという夢を叶えられたことと、新しい場所で多くのことに挑戦できることの喜びを実感しています。

たとえ住む場所、地域が違っていても、子どもたちの素直さや優しさ、可愛らしさは変わらないのだなと、流山市に勤務して感じました。

「学校に行くのが楽しみ!」と子どもたちが思えるよう、一日一日を大切に、一人一人としっかり向き合っていきたいと思ひます。

◇流山市立常盤松中学校 杉富 夏樹教諭◇

幼い頃からの夢であった教員になれた喜びを、子供たちの元気な挨拶や一生懸命な姿を見て、日々噛みしめています。また覚悟と責任をより一層強く感じています。子供たちが毎日「楽しい」と思えるように、謙虚な姿勢と誠実さを大切にし、取り組んでいきます。本校の教育目標のごとく、子供たちの可能性は無量大です。その可能性を広げるためにも、一人一人に寄り添い、信頼される教員になれるよう、日々成長するため精進します。

1人1台タブレット端末使用開始に向けて

現在各校の授業において、タブレット端末の活用が始まりました。タブレット端末の主な活用例として、ウェブサイトの検索機能を活用した調べ学習や、授業支援ソフト「ミライシード」を用いたドリル学習、タブレット端末上での意見交換や共有を行っています。6月からは各学校へ月4回程度、ICT支援員が訪問し、授業のサポートや職員の研修を行うなど、さらにタブレット端末の活用の幅を広げてまいります。



おおぐろの森小学校 開校しました

4月5日(月)に、おおぐろの森小学校の開校式(始業式)が行われました。2~6年生が木造の広い体育館に集まり、これから始まる新たな小学校での生活に期待を膨らませました。また、8日(木)には入学式が行われ、新1年生を含めた全校児童349名がそろいました。自然豊かな大畔地区に、児童の元気な声が響いています。

温かみのある木造校舎に包まれながら、児童が伸び伸びと活動し、成長していく姿が楽しみです。



令和3年度 流山市学校教育指導の指針

「学力・気力・体力」の流山の教育を推進するため 学びに向かう力と自立する子どもを育む

↓【重点的な取り組み】↓

生きる力の育成

確かな学力

- ・主体的・対話的な学び
- ・ICTの活用
- ・個に応じた指導

豊かな心

- ・道徳教育
- ・いじめ防止教育

特別支援教育の充実

- ・個別の支援計画
- ・教育相談体制の構築

健やかな体

- ・感染防止策の徹底
- ・遊友スポーツランキングちばへの参加

つながりのある教育の推進

地域とともにある学校づくり



- ・地域人材・教育力を生かした教育活動
- ・地域学校協働本部の活用

「流山子ども専用いじめホットライン」の他に、保護者向けの子どものための相談機関は複数ありますので、紹介いたします。

フレンドリーネットワーク

(それぞれの相談機関は連携して、対応しています。)

流山子ども専用いじめホットライン

☎ 04-7150-8055 13:00~21:00
中学生はアプリからも相談できます。

教育相談室
(流山市教育委員会指導課)

TEL 7150-8390
9:00~16:30
・不登校児童生徒について
・学校生活の問題について

いじめ防止
相談対策室
(流山市教育委員会指導課)

TEL 7157-1683
9:00~16:00
・いじめ、虐待について
・教職員の不適切な指導・体罰等について

家庭児童
相談室
(子ども家庭課)

TEL 7158-4144
9:00~17:00
・子どもと家庭についての相談
・子育て相談

就学相談
(流山市教育委員会指導課)

TEL 7150-8388
9:00~16:30
・入学にあたっての教育相談
・発達相談

家庭・地域・子ども・保護者・学校